

1 都立高校を取り巻く現状

- ▶ Society5.0時代の到来など**急速な社会の変化**に対応した人材育成への期待
- ▶ 公立中3学年生徒数は、**今後10年で一定数を維持**する見込み
(令和2年度:74,642人⇒令和12年度:83,852人⇒令和16年度:75,166人)

【データ等から見た都立高校の現状】

- ▶ 都内公立中学生の**進路状況が多様化**
- ▶ 都立高校入学者選抜の**応募倍率が二極化**
- ▶ **不登校出現率や中途退学率は低下**したが、定時制課程で高い割合
- ▶ **発達障害や日本語指導が必要な生徒**など、**支援が必要な生徒が一層顕在化**
- ▶ 普通科等で進学者の割合が増加
- ▶ 進路未決定等で卒業する生徒は定時制課程で高い割合

2 都立高校が取り組むべき主な課題

- ▶ **デジタルを活用した多様な学び方**の実現や**デジタルリテラシーを備えた人材の育成**
- ▶ 多様な文化や価値観を受け入れ、**国際社会で活躍できる人材の育成**
- ▶ **不登校やヤングケアラー、日本語指導が必要な生徒**など、困難を抱える生徒への一層の支援
- ▶ 都立高校の**更なる特色化**
- ▶ **教員の働き方改革**の推進

都立高校の魅力向上に向け、新たな課題等に対応するための当面のプログラムを策定

3 プログラムの概要

- ▶ 「**I 教育内容の充実**」「**II 多様な生徒への支援**」「**III 都立高校の特色化等**」の3つを柱として集中的に施策を展開
- ▶ 主要な項目については**到達目標を明示**し、取組を着実に推進
- ▶ 取組内容を**毎年度ブラッシュアップ**するなど、状況の変化等に応じて柔軟に対応

4 実施期間

- ▶ 令和4年度を含む令和6年度まで

令和4年度	令和5年度	令和6年度
策定・実施	実施・継続的なブラッシュアップ	

5 今後の予定

- ▶ 令和4年11月 プログラム素案公表 ▶▶ パブリックコメント実施 ▶▶▶ 令和5年2月 プログラム公表